

指定管理者に関するモニタリングシート

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 8 年度)

施設の名称	東大阪市民美術センター	指定期間	2 年度～ 21 年度
施設所管所属	人権文化部 文化室 文化のまち推進課	指定の方法	複数施設を一括指定管理
設置目的	美術その他芸術の振興を図り、市民文化の向上及び発展に寄与することを目的として、本市に市民美術センターを設置する。		
施設内容・業務内容等	第1展示室195.3㎡、第2展示室127.6㎡、第3展示室97.3㎡、会議室61.9㎡、和室45.5㎡、茶室25.2㎡、特別室143.9㎡ 特別展示・文化芸術普及事業等に関する業務、施設・設備の維持管理に関する業務、施設の使用許可・使用許可の取り消しに関する業務など		
指定管理者	東大阪花園活性化マネジメント共同体	連絡先	072-964-1313
人員体制	正規職員 3 人	パート・アルバイト 9 人	その他 0 人

2 管理運営状況等

年度		実績						今年度(予算)		次年度(見込)	
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和8年度	令和9年度			
管理形態		指定管理		指定管理		指定管理		指定管理		指定管理	
供用(開館)日数		307		308		308		308		308	
指定管理委託料(千円)		66,230		66,677		65,728		65,567		65,456	
利用状況	1 入館者数(人)	68,325		76,475		64,056		補足説明			
	2 展示室稼働率(%)	96.5		95.1		77.3		補足説明			
	3							補足説明			

3 モニタリングの総括

施設ごとに定める評価事項((i)重視していた事項、(ii)要改善事項、(iii)期待水準・当初提案を大きく上回った取組、(iv)期待水準・当初提案を大きく上回った成果)及びチェックシートの評価から点数を算出し、下記のとおり評価する。

総合点が95点以上をS、80点以上94点以下をA、60点以上79点以下をB、60点未満をCとする。

4(i) 重視していた事項	3 点	/ 10点	総合評価	B
4(ii) 要改善事項	-6 点	/-10点		
4(iii) 期待水準を大きく上回った取組	0 点	/ 5点		
4(iv) 期待水準を大きく上回った成果	0 点	/ 5点		
5 チェックシートの総括	78 点	/ 80点		
上記の合計(総合点)	75 点	/100点		
総評 (全体評価や今後の課題)	各評価事項に記載した課題については、今後の施設運営において適切に改善が図られるよう、指定管理者に対して必要な措置を講ずるよう求めていく。			

4 施設ごとに定める評価事項

下記(i)～(iv)の項目は、施設の状況に応じ、所管所属において自由に設定
(所管所属の評価がモニタリングの総括に反映)

(i) 所管所属が特に重視していた事項

評価対象年度(R7年度)において 特に重視していた事項・取組	施設所管所属コメント	評価点
施設の稼働率の維持・向上	特別室及び会議室においては稼働率の向上が見られるものの、施設の中心的な貸室である展示室の稼働率が低下していることは課題である。また、和室及び茶室についても利用が減少していることから、利用者ニーズや利用実態を十分に分析し、展示室を中心に利用促進策を講じるなど、施設全体の稼働率向上に向けた取組の強化を求める。	1
特別展における目標入場者数の達成	特別展については、2回の展示で異なる世代をターゲットとし、幅広い来館者層の獲得に向けた取組が行われていた。目標入場者数の達成には至らなかったものの、来館者層の拡大を意識した企画は、今後の集客につながる取組として評価できる。	2

＜評価基準＞
5点:大変よくできている
(目標をはるかに上回る達成)
4点:よくできている
(目標を上回る達成)
3点:できている
(おおそ目標どおりの達成)
2点:目標・要求水準には達していないが、取組は大いに評価できる。
1点:目標・要求水準には達していないが、取組は少なからず評価できる。
0点:目標・要求水準には達しておらず、取組も評価できない。

(ii) 要改善事項

主な改善指示事項(過年度からのものを含む)	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点
特別展の目標入場者数	特別展において目標入場者数を達成できなかったことは課題である。特別展は施設の魅力向上及び集客の中核となる事業であることから、企画内容の検討、ターゲット層を明確にし、広報・PRの強化を図るなど、目標入場者数の達成に向けた具体的な改善策の実施を求める。	-3
業務における確認体制の強化	再委託に係る事前承認、業務上の認識誤り、職員間の情報共有、書類の記載内容等について、過去にも指摘した事項が再度確認されている。個々の事案への対応にとどまらず、業務手順や確認体制を見直し、職員間での情報共有・認識の統一を徹底するなど、同様の事案を繰り返さないための組織的な改善が必要である。	-3

＜評価基準＞
0点:改善し、求めていた状況・水準以上になった。
-3点:改善しているものの、求めていた状況・水準には達していない。
-5点:改善していない。

(iii) 期待水準・当初提案を大きく上回った取組

当初提案・期待水準を大きく上回った取組	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点

＜評価基準＞
5点:模範的かつ他施設への展開・波及効果が期待できる取組である。
3点:大いに評価できる取組である。
1点:評価に値する取組である。

(iv) 期待水準・当初提案を大きく上回った成果(※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの)

当初提案・期待水準を大きく上回った成果 ※当初提案(期待水準)比+10%超えのもの	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)	評価点

＜評価基準＞
該当があれば5点、なければ0点

(配点対象外) その他特筆すべき事項

指定管理者による自主的な取組で評価に値するもの、突発的な事象発生時の迅速な対応など、特筆すべき事項	施設所管所属コメント (該当あればその内容を記載)
	AIという現代的なツールを取り入れ、言葉から絵を描くという新しい発想の自主事業を実施された。定員を上回る申込みがあるなど利用者から高い関心が寄せられ、アンケートにおいても好評を得ており、時代の変化や利用者ニーズを的確に捉えた、創意工夫のある事業展開が評価できる。

配点対象外

5 チェックシートの総括

「個別評価」(自動表示) :

S=不適当がなく「得点」が95%以上

A=不適当がなく「得点」が80%以上、

B=不適当がなく「得点」が60%以上

C=不適当が1個以上又は「得点」が60%未満

モニタリングの観点		施設所管所属のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項、課題に対する取組など
A	施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S (95 %)	協定書、仕様書等の一部未達成や、提出書類の不備及び遅滞が一部見受けられる点については以前から指摘を行っており、引き続き改善が必要である。また、学芸員の退職に伴い、仕様書に定める要件を満たす学芸員が未配置となる期間が生じるなど、管理運営体制に課題が認められたものの、設置目的を理解し、総合的には概ね適切な管理運営が行われている。
B	人員・施設の管理、会計処理等(再委託業務を含む)が適正に実施され、快適に利用できる施設環境が整備されているか？	S (98 %)	人員体制、施設・設備の管理、防犯対策及び物品管理については適切に実施されている。一方で、自主事業に係る経費の一部に委託料を充てていた事例や、市の事前承認を受けずに業務の一部を再委託していた事例が確認された。自主事業と指定管理業務に係る収支は明確に区分して経理するとともに、再委託に当たっては仕様書に定める手続を遵守し、事前に市の承認を受ける必要がある。今後は、協定書及び仕様書等の内容を十分確認し、適正な会計処理及び再委託手続の徹底に努められたい。
C	平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S (96 %)	平等な施設利用が確保され、マニュアル整備や職員の研修受講を通じてサービス向上が図られている。また、ウェブサイトで施設の利用案内や予約状況が分かるようにするなど利便性を心がけ、利用者の属性に関わらず、誰もが利用しやすい環境づくりについても取り組まれている。一方で、職員間の情報共有及び認識の統一が不十分であったため、同様の誤りや認識の相違が複数回確認された。今後は、適切な業務運営に向けて情報共有及び認識統一の徹底を図り、再発防止に努められたい。
D	市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A (92 %)	事業アンケートの結果を踏まえ、要望の多い講座やコンサートを実施するなど、多様な事業を展開している。また、市政だより、地域情報誌、ホームページ、SNS等を活用し、市民への情報発信に努めている。一方で、特別展の関連イベントにおいて、募集開始後に対象者を変更する事案が確認された。今後は、施設の設置目的及び事業趣旨を十分踏まえ、必要に応じて委託先との合意形成を図りながら適切に事業を実施されたい。また、アンケート結果の公表など、事業内容の見える化に向けた取組を進めるよう、指定管理者に指導していく。
E	施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	S (95 %)	展示室の稼働率は低下したものの、利用料金収入が計画通りに推移している。また、利用者のニーズに応える自主事業も実施されている。今後は一体管理のメリットを活かす取組や、稼働率が低調な施設の利用促進を積極的に行ってほしい。
F	法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S (98 %)	法令等を理解、遵守しており、研修も定期的に行っていることを評価する。